

かけはし

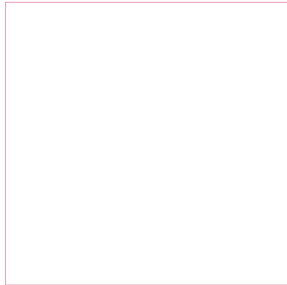
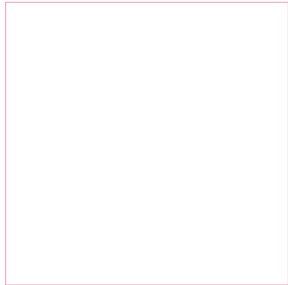
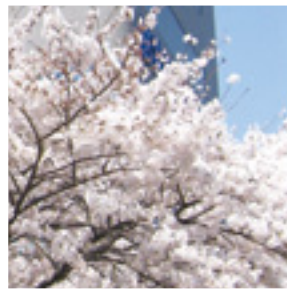
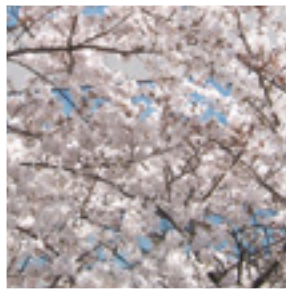
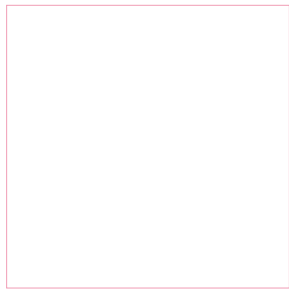
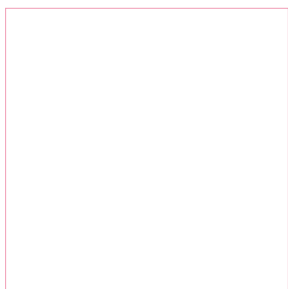
4

April

2014 vol.157

かけはしマネジメント対談

株式会社三笑堂



企業・強みの研究

滋賀フジクリーン株式会社

企業・強みの研究

株式会社ミールサービスたにくち

地域が変わる——地域活性化の現場

瀬田【瀬田商工会 絆づくりビジネスネットワーク】

BUSINESS TALK



ビジネストーク

「ニュービジネス」で 新たな成長を

頭取 大道良夫

平成25年度最終回の「サタデー起業塾」を2月22日に開催し、席上、「しがぎん野の花賞」を5社の皆さんへ贈呈させていただきました。

「サタデー起業塾」は、「野に咲く花を大輪に育てたい」との願いを込め、平成12年に開講しました。以来、14年の歳月を重ね、毎回、受講生の皆さまの事業展開への熱い息吹に触れるとともに、新たな事業の芽が着実に育っていることを頼もしく思っています。

25年度は、新たに後半部分に「分科会」を設け、皆さんの予定時間を超過しての熱心な意見交換や議論が心に残りました。

「しがぎん野の花賞」は、「産学官」連携でニュービジネスに取り組まれ、顕著な実績をあげられた受講者を顕彰するものです。これまでの受賞者では、太陽光照明システムや機能性食品の開発販売など、それぞれの分野で立派に花を咲かせておられます。

25年度は、近江の麻とびわ湖のヨシを使った意匠ノートを共同開発された「滋賀麻工業」（愛荘町）、自己浮上式小水力発電装置を開発された「スターエシニアリング」（守山市）、植物由来の機能性成分生成に利用するストレス負荷型装置のデータベース化を研究開発された「ツジコー」（甲賀市）、世界最小最軽量3次元足型レーザー計測システム機器の開発および足型データベースを構築された「ドリームジッピー」（大阪市）、高い精度・安全性・生体適合

性を有する消化管検査用小型ロボットを開発された「ミュー」（大津市）の5社が受賞されました。

いずれの事業もアイデアと情熱に溢れ、今後、大きなビジネスに成長するものと期待しております。

安倍政権の下、「日本産業復興プラン」、「戦略市場創造プラン」、「国際展開戦略」が掲げられ、経済政策パッケージとして産業競争力強化法が平成26年1月に施行されました。

経済雑誌「WEDGE」2月号では「ベンチャーブーム再来」を特集、「起業」の課題解決に向けて①工場で作った商品を自ら直接消費者に届けるなどの「商流改革」②ネットで地域活性を図る「クラウドマッチング」③旧来の販売手法を根底から見直す「常識を疑う」④下請けからの脱却や現代版「家内制手工業」などを目指す「Makers」⑤大企業がベンチャー利用のノウハウを活用する「大企業のベンチャー利用」の5つの方策が語られ、私も思わず膝を打った次第です。

当行も、あらゆる方策を追求するとともに、「経済が反転しつつある今こそチャンス」との気概を皆さまと共有し、ニュービジネス育成に一層取り組む所存です。

新年度の「サタデー起業塾」は5月に開講します。「第二創業を含むビジネスモデルの革新的『転換』」を目指す「サタデー起業塾」への、皆さまのご参加をお待ちしております。

C O N T E N T S

かけはし

vol.157 4 April

02 ビジネストーク
「ニュービジネス」で新たな成長を

03 かけはしマネジメント対談
株式会社三笑堂
代表取締役会長 上田 勝康氏



07 企業・強みの研究
滋賀フジクリーン株式会社



09 企業・強みの研究
**株式会社
ミールサービスたにくち**



12 地域が変わる—地域活性化の現場
瀬田
瀬田商工会 絆づくりビジネスネットワーク



14 アジア&ワールド
独自技術で切り開く新たな市場
～ものづくり企業の中国市場への挑戦～

16 アナリストレポート 県内景気天気図
緩やかな回復が続いている

18 ズームアップ 県内経済情報
景況感は全業種で大幅改善するも、先行きは不透明
(県内企業動向調査)

20 **主要経済指標**

21 イチ押し! pick up
農事組合法人 近江農産組合
「乳酸菌の恵み」

21 着眼大局
あれから一年
常務取締役 児玉 伸一

22 しがぎんトピックス
ニュービジネスへの取り組みを奨励
—「しがぎん野の花賞」を5社に贈呈—

「第17回環境コミュニケーション大賞」でダブル受賞
—環境報告書部門 環境報告大賞、テレビ環境CM部門 優秀賞—



滋賀銀行は、環境省認定の「エコ・ファースト企業」として、「環境経営」に取り組んでいます。

本誌「かけはし」は、
<http://www.keibun.co.jp/>でもご覧いただけます。
※「かけはし」の名称は、(株)しがぎん経済文化センターが商標登録しています。
本誌掲載の記事、写真、イラスト等の無断複写(コピー)・複製(転載)を禁じます。

介護する人、介護される人
笑顔をもっと増やし続けたい。
私たちが笑うことで笑顔が増える。



株式会社三笑堂

代表取締役会長 上田 勝康氏

▶ interviewer

頭取 大道 良夫
取締役京都支店長 森本 勝

身体機能が回復すれば人は笑顔になる。介護が少しでも楽になれば家族も笑顔になる。そんな笑顔を増やそうと取り組む医療・福祉専門商社の三笑堂。商社の枠を超えた積極的なアクションをご紹介しよう。

国内最大級の介護ショールーム 「セレクションスペース笑顔」

大道 ●三笑堂さんが昨年開設された国内最大規模の介護用品ショールーム「セレクションスペース笑顔」をお訪ねしました。介護用のベッドや車椅子はもちろん、歩きやすい靴や杖などの歩行補助用品。シャワーチェア、バスボードといった入浴介護用品。高齢者の方が食べやすいように工夫された介護食。手すりや昇降機などの住宅関連機器。数え切れないほどの在宅介護用具が展示されていますが、すっきりとしたゆとりの空間で、明るい雰囲気の中、商品をじっくり検討できます。

上田 ■日本では、これだけ多くの福祉用品や用具に実際に触れられる場所がほとんどありません。ケアマネージャーさんや理学療法士さんでさえ新しい介護用具に実際に触れられるのは春と秋の展示会くらいです。メーカーさんも常設展示の場を求めています。

大道 ●そこで三笑堂さんが、メーカーと



おしゃれで機能性の高い杖を多数展示した「セレクションスペース笑顔」の杖コーナー

利用者さん、介護現場をつなぐためにこのショールームを開設されたのですね。
上田 ■実物に触れ、カタログでは分からない使用感を体感いただくことで、最適な用具の選定に役立つと確信しています。さまざまな団体が主催するセミナーや勉強会の場にもお使いいただくなど、「多目的な情報発信・学習拠点」としても機能していますし、近鉄上烏羽口駅から徒歩4〜5分というアクセスの良さも好評です。
森本 ●先ほど福祉施設のケアマネージャーさんたちが来られて、熱心にベッドや車椅子の使い勝手を試していらっしゃいましたね。

医療機器の取り扱いで培った 「生命や尊厳」に携わる自覚

上田 ■誤嚥^{ごえん}を防止する機能を持つベッドは、メーカーへ出向かないと実際の製品を体感したり、有効性を実感したりできませんでした。当社では京都府内にある在宅事業部の営業所でも展示するようにして、周辺の福祉施設の職員さんを招いて勉強会も開催しています。

大道 ●御社の在宅事業は福祉用品をレンタル販売されるだけでなく、地域の福祉法人や職員さん、肉親を介護されているご家族との連携の輪の中で、大きな役割を担われているのですね。私も妻と共に父を7年間介護した経験があります。良い用具がいかに家族の負担を軽くするか、親身な情報提供がいかにありがたいか、身に染みて分かります。



自宅をシミュレーションしながら相談できる住宅改修コーナー

上田 ■医療機器商社として数十万アイテムものの機器や物品を病院へお届けする医療事業は当社の原点であり、今も売上げの80%以上を占める基幹事業です。1本の酸素ボンベを届けることで赤ちゃんの生命を救えた。そのような経験を積み重ねてきたことで、どの事業においても「我々が扱っているのは物ではない、生命であり尊厳なのだ」との自覚と誇りが張り詰めています。医療・福祉に関わる製品・サービスを通してお届けしたいのは「笑顔」。お客さまに笑顔になつていただくためには、まず私どもが笑顔にならう。これが三笑堂の商いの心です。

笑顔を決やさず迅速に的確に 個別科目に特化した専門営業も強み

大道 ●「三笑堂」の社名は「作った人、売った人、買った人すべてが笑顔でつながった商いをしよう」との思いを込めて、創業者の上田新次氏が掲げられた屋号に由来するそうですね。三代目にあたる上田勝康会長が指揮される現在の三笑堂さんは、医療・在宅介護バイオ・医薬の4分野で専門商社としての事業を展開されています。近畿一円や東京の17の拠点網を足掛かりに地域密着型の営業活動を行われ、医療・福祉系ディーラーとしてはトップクラスの業容を誇つていらっしゃいます。



株式会社三笑堂 代表取締役会長

上田 勝康氏
(うへだかつみち)

1967年生まれ。89年、株式会社三笑堂入社。総合営業、専門営業を経験し、2000年に奈良支店を立ち上げて支店長に就任。取締役経営企画部長を経て、2013年に代表取締役会長に就任。

企業理念

「SPEED and HEART」
「BEST for SMALL」
「ENJOY and THINKING」

我々の仕事は人の命と深く関わっています。
あらゆる事に対し、心を込めて速やかに最善を尽くします。

会社概要

株式会社三笑堂

- 資本金/6,000万円
- 従業員数/857名(グループ計)
- 事業内容/医療・医薬・介護・バイオ専門商社
- 本社所在地/京都市南区上鳥羽大物町68
- URL/http://www.sanshodoh.co.jp

プロフィール

- 1929年 「いわしや上田医科器械店」として創業
- 1973年 大阪支店開設
- 1975年 社名を「株式会社三笑堂」に改称
- 1981年 滋賀支店開設
- 1993年 在宅ケア事業部発足
- 1998年 レンタル事業部発足
- 2003年 バイオ事業部発足
- 2005年 在宅事業部「リメイクセンター」開設
- 2010年 東京支店開設
- 2013年 「セレクションスペース笑顔」「コミュニティスタジオ奏音」「ケアプランセンター葉」オープン



デイサービスセンター「コミュニティスタジオ奏音」

の一人ひとりにきちんと向き合うことから始まる仕事です。国内最大級の「セレクションスペース笑顔」では、在宅事業の営業経験を持つコンシェルジュに最適な用具を選んでいただけのですね。

上田 ■靴でしたらサイズだけでなく、歩行能力やむくみ、外反母趾にも注意して最適な商品をご提案します。甲が腫れ上がって「合う靴なんかない」とあきらめ顔で来訪された方が、笑顔になってお帰りになったこともあります。

大道 ●最近では兵庫県伊丹市にデイサービスセンター「コミュニティスタジオ奏音」や居宅介護支援を行う「ケアプランセンター葉」を開設されました。用具を扱うだけでなく、福祉の現場にも進出されています。

上田 ■祖父の上田新次が医療機器販売を始めたのは1929年。注射針やガーゼ、聴診器等の消耗品を主に商っていたようです。祖父を知る人が「あの人の笑顔は忘れられない」と言うくらいなので、思いやりに満ちた人柄だったのだと思います。そんな祖父が起こした事業を大きく発展させたのが、生来仕事熱心でスピード感を大事にする父の上田裕彦です。

上田 ■我々が身をもつて要介護者さんに向き合えば、介護用品の販売・レンタルにおいてもより深い提案ができると考えました。「奏音」では経験豊富な介護職員を配して、介護度の高い方にもご利用いただける体制を確保しています。「ご飯がおいしくなくてはダメ」との裕彦名誉会長の思いから、食事には特にこだわっています。

森本 ●福祉施設の経営では職員さんのモチベーションの維持が大きな課題になります。

上田 ■頻繁にアンケートを取って悩みを酌み取つたりと、気を配っています。その成果か、デイサービスの仕事は激務です

が、まだ離職者は出ていません。「奏音」は介護用具をどのように使っているかを見たり、実際に体験してもらおうというルームでもあると当社では考えています。特殊浴槽や食事用テーブル等をここでご覧になり導入されるケースも増えていますし、オリジナル商品を企画する際のヒントにもなっています。

医療と福祉に深く関わり2つの分野をつなぐ架け橋に

大道 ●介護と医療は、高齢化がさらに進展する今後の最重要な課題です。三笑堂さんの社会的役割もますます大きくなるでしょう。

上田 ■医療の人と福祉の人の交流はま

上田 ■祖父の上田新次が医療機器販売を始めたのは1929年。注射針やガーゼ、聴診器等の消耗品を主に商っていたようです。祖父を知る人が「あの人の笑顔は忘れられない」と言うくらいなので、思いやりに満ちた人柄だったのだと思います。そんな祖父が起こした事業を大きく発展させたのが、生来仕事熱心でスピード感を大事にする父の上田裕彦です。

現在、名誉会長を務めています。当社の企業理念の一つが「SPEED and HEART」ですが、父が求める「商いに大切な迅速さ」と創業者の「思いやりの心」を含んだ深い言葉だと理解しています。笑顔を抑えず、迅速に、的確に。この姿勢を徹底することでお客さまとベネフィットを分かち合えるプロ集団を目指しています。

大道 ●医療事業では近畿や首都圏で2000もの病院やクリニックと取り引きされ、医療施設ごとのニーズに対応する総合営業だけでなく、専門営業を組織していらっしゃるのも強みですね。

上田 ■専門営業は、循環器内科、泌尿器科などの個別科目に特化したスペシャリスト集団です。例えば、脳神経外科や麻酔科等には慢性的な痛みをやわらげる電気刺激系機器など、専門知識なしでは提案できない機器も多く、「ニューロ／IVR事業部」の名で専門営業を展開しています。また、社のもう一つの強みは、医療機器を自社で修理できる技術を持っていることです。

内科、泌尿器科などの個別科目に特化したスペシャリスト集団です。例えば、脳神経外科や麻酔科等には慢性的な痛みをやわらげる電気刺激系機器など、専門知識なしでは提案できない機器も多く、「ニューロ／IVR事業部」の名で専門営業を展開しています。また、社のもう一つの強みは、医療機器を自社で修理できる技術を持っていることです。

に合った用具や、手すりの取り付け等の住宅改修のご相談に応じています。一人で約150人のお客さまを担当しますが、心を開き、信頼していただくまでにはたいへんな努力が求められます。身体機能の衰えは他人には隠したいものです。しかし、すべてをきちんとお話しいただくことで真に役立つご提案ができるのです。家族同然に心をつなげることを目指す仕事ですから、利用者の方やご家族の辛さや苦しみを自分のものとして共有できる者にしか務まりません。

デイサービスなど福祉事業に進出 現場ニーズを取り込む最前線に

大道 ●家族にも遠慮して気持ちを伝えられないお年寄りもいらつしやいます。そ



介護ベッドの特徴や操作方法を聞く、左から遠藤収取締役、大道頭取、上田勝康会長、上田裕彦名誉会長、森本支店長

現在、名誉会長を務めています。当社の企業理念の一つが「SPEED and HEART」ですが、父が求める「商いに大切な迅速さ」と創業者の「思いやりの心」を含んだ深い言葉だと理解しています。笑顔を抑えず、迅速に、的確に。この姿勢を徹底することでお客さまとベネフィットを分かち合えるプロ集団を目指しています。

大道 ●医療事業では近畿や首都圏で2000もの病院やクリニックと取り引きされ、医療施設ごとのニーズに対応する総合営業だけでなく、専門営業を組織していらっしゃるのも強みですね。

上田 ■専門営業は、循環器内科、泌尿器科などの個別科目に特化したスペシャリスト集団です。例えば、脳神経外科や麻酔科等には慢性的な痛みをやわらげる電気刺激系機器など、専門知識なしでは提案できない機器も多く、「ニューロ／IVR事業部」の名で専門営業を展開しています。また、社のもう一つの強みは、医療機器を自社で修理できる技術を持っていることです。

医療機器の保守管理技術が在宅事業の機器修理に活きる

大道 ●病院にも臨床工学技士がいらつしやいますが、修理点検を外部に任せられれば何かと助かるでしょうね。

上田 ■医療機器の保守管理で培ったノウハウはレンタル福祉用具をメンテナンスする「リメイクセンター」にも活かされ、在宅事業の強みになっています。熟練した技術で、洗浄・消毒・メンテナンスを行い、レンタル用具を常に清潔で安全なコンディションでお届けしています。

大道 ●バイオ事業では大学や民間研究所等へ実験・分析に用いる機器や試薬等を供給されています。医薬品事業ではジェネリック医薬品を扱っていらつしやいますね。

上田 ■先発薬より安価なジェネリックの普及を望む医療現場の声に応えた事業です。

大道 ●上田会長が情熱を注いでいらつしやる在宅事業のスタートは93年。介護保険制度導入前です。

上田 ■地域医療と深く関わる中でおのずと在宅介護にも目が向くようになり、先ほどの専門営業の一つとして在宅ケア事業部を設けたのが出発点でした。現在、約130人の営業担当者が介護を必要とされている方と面会し、お体の状態

に合った用具や、手すりの取り付け等の住宅改修のご相談に応じています。一人で約150人のお客さまを担当しますが、心を開き、信頼していただくまでにはたいへんな努力が求められます。身体機能の衰えは他人には隠したいものです。しかし、すべてをきちんとお話しいただくことで真に役立つご提案ができるのです。家族同然に心をつなげることを目指す仕事ですから、利用者の方やご家族の辛さや苦しみを自分のものとして共有できる者にしか務まりません。

デイサービスなど福祉事業に進出 現場ニーズを取り込む最前線に

大道 ●家族にも遠慮して気持ちを伝えられないお年寄りもいらつしやいます。そ

創業時の浄化槽から住設機器へと広がる事業領域。 需要が高まる「水発泡断熱材」で暮らしをサポート。

浄化槽メーカーから独立し

滋賀中心に独自の販路を開拓

浄化槽はし尿や生活雑排水を処理して、浄化した水を側溝や用水路、河川などに放流するための設備だ。下水道が未整備な地域では、トイレの水洗化に欠かせない。

滋賀フジクリーン株式会社は社名が示す通り、業界最大手の浄化槽メーカーであるフジクリン工業株式会社（本社名古屋市中）の滋賀営業所が前身。1985年にのれん分けのような形で独立して以降、滋賀、京都、福井、三重で浄化槽の販売・設置実績を積み上げてきた。

「下水道普及率が低かったころは浄化槽マーケットはとても盛況で、滋賀県内だけで100社ものライバル会社があった。その中でも、省スペース型で施工しやすく、メンテナンス性にもすぐれたフジクリン工業社製浄化槽の競争力は抜群で、ブランド力と独自に培った施工力を強みに勝ち抜いてきた」と長谷川伸夫社長。

現在の販売先は1000社を超える。大手ハウスメーカーや地域密着型の工務店、住宅設備

業者が中心で、戸建て住宅の新築やリフォームの際に最適な浄化槽を提案するとともに、現場での埋設施工も請け負う。

公共施設や工場向けなど

大型浄化槽でも多くの実績

その一方で、公共施設や工場といった大規模施設の雑排水、生産排水を処理する大型浄化槽も数多く手掛けてきた。県内各地の「道の駅」の浄化槽はほとんど同社が設置。自動車メーカー等の工場への設置でも多数の実績を重ねている。

「10人分を処理する10人槽程度の需要が多い住宅向けと違い、道の駅や工場用だと100人〜300人槽が必要になる。既存品が使えないため案件ごとに図面を書き、生コンを現場で打ち込んでRC（鉄筋コンクリート）槽を作る場合もある。いわば建設会社並みの設計力と施工管理能力が必要。元請けは大手ゼネコンが多く、当社が水処理設備全般を請け負うサブコン的な役割を担うことも少なくない」。

大型槽でも「フジクリン」のブランド力は大きな強みになるが、それだけで多数の実績を残



浄化槽施工の現場

立った」と感じ始めたのは10年ほど前。長谷川社長は「浄化槽で広げてきた販路を生かし、別の製品も扱おう」と決断した。

現在の同社は「水」から「住まい」に事業領域を広げている。得意の「水」分野では、天然の鉱物を主成分にした凝集剤「エコマックス」を大学教授と共同開発。道路舗装工事、下水道管理工事などで発生する汚泥や濁水から汚れの粒子を分離・沈殿させる凝集剤だが、薬品を使用した既存の製品では安全性や環境に与える負荷が問題だった。「エコマックス」はこれら課題を解決し、処理設備の簡素化、導入コストの削減もできると評価されている。

また、高い殺菌力や洗浄力を持つとされるナノバブル（超微細気泡）を低コストで発生させる装置の開発にも挑戦。現在、「エコマックス」と併用しながら家畜の糞尿処理などへの応用を検証中だ。



硬質ウレタンフォームを水発砲で吹き付ける断熱材「アクアフォーム」



家全体をすっぽり覆うため、高い断熱性、気密性、吸音性を発揮

将来の柱へと育てる

水発泡断熱材「アクアフォーム」

一方、多数の工務店、住設業者との信頼関係を生かして、「バイオオンドル」等の床暖房システムや断熱材を販売するのが「住まい」分野だ。とりわけ株式会社日本アクア（本社・東京都が開発した水発泡断熱材「アクアフォーム」の成長ぶりが著しい。

「現場吹きつけ発泡によって住宅全体をすっぽり覆うため、気密性がきわめて高く、断熱効果は抜群。初期コストは高めだが、冷暖房費をぐんと抑えられるため採用する工務店が急増。当社の扱い高も急激に伸びている」。

滋賀フジクリーンは京滋等での施工代理店という立場ながら、実際には原料の調達安定化などで大きな存在感を示し、日本アクアからパートナーとして頼られている。施工品質の向上維持を目指す「アクア会」も長谷川社長を中心に設立された。

「冷暖房用電力節減を目指す住宅のゼロ・エネルギー化推進」を国が打ち出す中で、アクアフォームの将来性はきわめて有望だ。だが、現場吹きつけは高い技能を要するので、施工技能者の育成が今後の普及の鍵を握る。当社はアクアフォームが5年後の柱になると確信している。それを目指すためにも「アクア会」の立場から施工品質向上と技能者育成をお手伝いしていきたい」。

浄化槽で蓄えた強みが異分野で花を咲かせ始めている。

Voice 代表取締役 長谷川 伸夫氏

生活排水を汚濁源に近い所で処理する。

そんな浄化槽の普及で「湖国の水」を守ってきた当社は、

「住まい」の快適さにも目を向け、冷暖房用電力をゼロに近づける

水発泡断熱材のご提案などで皆さまの暮らしに貢献します。

Profile 滋賀フジクリーン株式会社

<http://www.s-fujiclaen.co.jp/>



- 本社/栗東市出庭1627-2
- 設立/1985年
- 資本金/1,000万円
- 従業員数/8名
- 事業内容/各種水処理浄化槽の設計・施工・販売、凝集剤「エコマックス」の販売、硬質ウレタンフォーム断熱材「アクアフォーム」の販売・施工、床暖房システム・換気空調システム等の住宅整備機器の販売・施工など

笑顔のため、生命を守るために毎日届ける。

「高齢者向け配食サービス」という安心と喜びを。

高齢者家庭に、通所型施設に

毎日約2300食を提供

長浜市、米原市、彦根市から「高齢者向け配食サービス」を受託するミールサービスたにぐち。毎日800食を超える食事を3つの都市の家庭へ届けるほか、デイサービスや障がい者施設など約90の福祉施設へも約1500食を提供している。一般的なケータリングと異なる点は、物を食べる力が弱い人が対象であることだ。咀嚼能力などが利用者ごとに異なるため、新規受付の際には病気による食事制限の有無やご飯の硬さなどを聞き取り、利用者ごとのデータを作成する。これによって、同じ献立でも普通食やひと口大食、ミキサー食などの作り分けが可能となる。同社には調理師・栄養士がそれぞれ約30名ずつ常駐し、糖尿食や腎臓食、肝臓食など30種もの調理法に対応している。また衛生面への配慮も徹底し、厨房には器具や食器全てを高温で消毒殺菌を行う乾燥庫など独自の衛生設備を導入。さらに、調理品すべてに中心温度等の測定記録を残すといった妥協のない態勢で臨んでいる。

安全・安心なうえに高品質

提供するの「食べる喜び」

「細かな作り分けや衛生配慮は当然だが、ただ食べられればいいというものではない。私たちがこだわるのは、おいしさと楽しさの提供。制約も多いが、可能な限り、食べる満足感を届けたい」。そう話す谷口正晴社長は、京都の割烹等で腕を磨いた料理人だ。機械的な大量調理を避け、人のぬくもりが伝わる、手間暇かけた調理を追求している。そのこだわりは食材にも向けられており、旬の食材や地元産の食材を可能な限り使用している。中でも米は、地元の農業団体内に同社専用の米を栽培する会社を設立。安心で高品質な米を確保し、災害時には地域の食糧供給にも活用できるよう備蓄庫も備えている。

さらに配達サービスでは、容器にも工夫を凝らしている。保温機能があり、レンジで温められる食器を使用して、冬でも温かい食事を手軽に楽しめるよう気配りが込められている。

施設の食事に関しても、同社は独自のサービスを提供している。例えば福祉施設へ赴き、実際にバスを現場で取り仕切る谷口之信専務。

さまざまな制約にも対応しながら、料理人としての目で現場に挑んだ。例えばミキサーで食材を粉碎する際も、素材の彩りを生かすため、おかずごとに分けて刻む。砕かなくても食べられる人には包丁で一口大に切った食材を提供。これらの配慮は従来よりも手間がかかるため、周囲との軋轢も生じたが、谷口専務は配膳や食事介助にも積極的に参加し、利用者と直接ふれあうことに力を尽くした。こうした真摯な姿勢が従来のやり方に慣れた周りの社員にも徐々に伝わり、現場の意識改革と食事の品質の底上げに成功した。

この成功が他の施設からの受託につながり、現在は長浜市と米原市の6つの入所型施設で食事を提供している。一方、配食サービス事業も2000年に虎姫町から受託したのを機に、年を追って拡大。「1日4000食対応の厨房を昨年の夏に新設。従業員も増員したが、高齢者向け事業



毎日約2300食を提供する厨房。徹底した管理と充実した設備で衛生環境を守っている

利用者の目の前で板前が寿司を握って提供したこともある。外出が困難な利用者に寿司屋の雰囲気味わってもらいたいと考え、鮮魚を並べたガラスケースやのれんも用意、壁には寿司の品書きを書いた札を並べた。このほかにも、夏は青竹

では物理的な能力を増やすだけでは対応できない。お客さまの多様な要望にも、最初から『できない』とは言わず、どうすれば『できる』のかを、誠心誠意考える、まごころのこもった思いやりが大切」と谷口社長。

配食サービスが担う

高齢者の安否確認

高齢者向け配食サービスが通常のケータリングと異なる点は、自宅へ毎日食事を届けることが高齢者の安否確認につながっていることだ。ある日、食事を届けると利用者からの応答がない。探してみると家の裏側で昏倒していたというようなケースも少なくない。このように異変にいち早く気づき、家族や担当ケアマネジャー等と連携しながら利用者の生命を守る。この役割を担うからこそ、同社は正社員を多く採用している。新しい社員には指導員が丹念に指導し、万一の際にも万全に対処できるよう徹底した研修を行っている。

「地域の高齢者を見守る役割を担う事業だから、利益を追求するだけでは務まらない。経営的には非効率だが、誰かがやらなくてはならない仕事だ」。こう話す谷口社長は、蓄えた経験を生かした新たな高齢者向けの買利物代行の構想すでに始めている。外出が困難な利用者に食事の配達とともに生活用品などを届けることで、利用者の生活をさらにサポートできる。地域や高齢者に対して「ひとりの人に、心からの『安心』と『喜び』を」届けることをモットーに、日々手間を惜しまずサービスを提供し続けていく。



冬でも温かい食事が楽しめるように、保温機能のある食器を使用



利用者のデータを記したプレートをもとに弁当を作る

Voice 代表取締役 谷口 正晴氏

食のプロとしてお客さまに合わせた調理法を採用、

「高齢者向け配食サービス」「福祉施設での食事提供」で

栄養とおいしさのバランスが取れた食事を毎日お届けしています。

目指すのは「食と心のホットライン」。お客さまの「食べる喜び」と生命を守ります。

Profile 株式会社ミールサービスたにぐち



- 本社/長浜市新栄町556-7
- 設立1996年
- 資本金/1,000万円
- 従業員数128名(パート含む)
- 事業内容/高齢者向け配食サービス、福祉施設での食事の提供

地域が変わる――

地域活性化の現場



瀬田

©瀬田商工会 絆づくりビジネスネットワーク ▶ <http://www.setacai.com/>

産民学が地域の「買い物弱者」支援で連携を実現 地元企業の強みを生かしたサービスで地域活性化を目指す。



地域住民が集まる移動販売車。その日の朝に市場から仕入れた野菜や魚などの食品が並び

高齢者などの「買い物弱者」を支援するため、瀬田商工会が、地元自治会の協力を得て取り組んでいる「めんどうみ（御用聞き）サービス」「移動販売^{せたのいち}」「勢多市」などの取り組み。きめ細やかなサービスを提供する「非効率経営」をモデルとした、小規模事業者を支援する新しい試みとしても注目を集めている。

高齢者の困り事サポートは 商工会、自治会の共通課題

1990年代、大規模小売店舗法の緩和とともに大型量販店の出店が加速し、各地で商店街や個人経営の店舗の衰退が目立つようになった。その結果、身近な小売店が消え、移動手段がなく、独居のため家族の助けを借りることも難しい「買い物弱者」と呼ばれる人々が、高齢者を中心に増加してきた。

瀬田地域でも高齢化が進み、この問

題が顕著に表れるようになった。危機感を抱いた瀬田学区自治連合会と民生委員児童委員協議会は、地域で買い物に関する意識調査を実施するなどの取り組みを検討していた。

その一方で、地域で唯一の経済団体である瀬田商工会は、大型店進出の影響で会員が減少する中、小規模事業者の存在意義を高める方策を模索していた。当時の商工会会長は大規模事業者による効率的な経営の対局をいく「非効率経営」に着目。電球1個

の交換でも自宅に伺うなど、ニーズに細かく対応し、顧客との接点を増やすことで確かな関係を築くことが生き残りにつながると考えた。

気軽に利用できる店が減って困っている自治連合会と、会員と住民の接点を増やしたい商工会は、それぞれの課題を共通の課題として取り組むことにした。2011年7月、瀬田商工会内に「絆づくり経営検討委員会」を設置。自治連合会会長らとともに、龍谷大学社会学部の築地達郎准教授も委員として名を

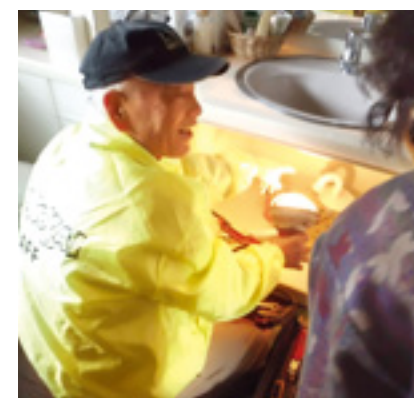
連ね、地域の新たな仕組みづくりに向けて産民学の連携が実現した。

小さな依頼にも出張対応 消費者との信頼関係を築く

11年末、大津市自治連合会東部6学区の協力のもと、瀬田に住む65歳以上の高齢者全世帯を対象に、どのようなサービスを求めているかを探るアンケート調査を行った。その結果から、買い物だけでなく、住居や家電の修理・修繕のニーズが高いことがわかった。

これを受け、12年7月には生活の困り事に対応するメンバー企業を募集し、工務店、電気店、弁当屋など幅広い業種にわたる26社が参画する「絆づくりビジネスネットワーク」が結成された。こうしてスタートしたのが、さまざまな要望に電話一本で応える出張サービス「めんどうみ（御用聞き）サービス」だ。

『「手が届かない所の電球を交換してほしい』『トイレに携帯電話を落とした』など、ちょっとした身の回りの不便を解消したいという依頼が多いですね。費用面に関しては、大型量販店だと出張費等が加算されて高額になることも少なくありませんが、私たちの場合は地元企業が対応にあたるため、その心配もありません。基本的には事前に見積りをお渡ししますし、商工会が行っているということで、安心感が大きいようです』と話すのは、絆づくりビジネスネットワークのリーダーを務める濱田康弘さん。



「めんどうみ（御用聞き）サービス」の水道修理

「儲けがほとんど出ないケースも多いですが、これをきっかけに新しいお客さまと良い関係を築き、商売につなげていければいいと考えています。簡単な作業でも喜んでいただけることが多く、一人暮らしの高齢者の話し相手になることもできます。ビジネスだけではない意義を感じますね」。運営開始から約2年、今年2月までに約100件の利用があり、メンバーも44社に増えた。地道な広報活動が実を結び、年を追うごとに申込件数は増えてきているという。

地域をつなぐ 「勢多市」や移動販売

同ネットワークでは「めんどうみ（御用聞き）サービス」以外にも、地域活性化に向けた取り組みを行っている。その一つが、建部大社の参道で開いている「唐橋しじみ市with勢多市」だ。毎回20～30店が参加し、旬の食材や特産品を軽トラックに載せて販売するもので、7～9月を除いて毎月開催してきた。

この「勢多市」は、地元の「唐橋まちづくりの会」が以前から買い物弱者支援の目的で、唐橋商店街で続けてきた「唐橋しじみ市」と合同で実施している。地域の団体同士が協力することで、規模の拡大と運営の安定をはかる狙いがあったためだ。「勢多市」となっからは、5カ所の市民センターと会場を結ぶ無料シャトルバスを運行するなどの工夫をこらし、来場者が2,000人に達する月もあった。



多くの人でにぎわう「勢多市」



移動販売ではカイロプラクティックの無料体験サービスも

さらに、昨年12月からは移動販売も開始した。食料品の販売を中心に、自転車のパンク修理、カイロプラクティックの無料体験、牛乳販売店による骨年齢測定など、毎週水曜日に市内の3カ所を巡回して行っている。

「当初は2カ所のみで運営を行っていましたが、自治会から要望を受けて3カ所で行うことになりました。場所によっては多くの住民が集まり、コミュニケーションをとる場にもなっています。互いの安否を確認できる機会にもなり、福祉関係の行政や団体からも注目されています」と、瀬田商工会で事務局を務める川瀬成行^{しげゆき}さんは話す。

まちづくりの活力になる 小規模事業者の活性化

「絆づくり経営検討委員会」発足から約3年。絆づくりビジネスネットワークの取り組みは、少しずつ地域に認知されてきた。「ようやく浸透してきたこのサービスを今後も発展させていくために、今以上に利用しやすいシステムを確立していきたいですね。メンバーの意識向上も課題です。それぞれがリビートにつなげることができるようきめ細かな対応を心がけて、大型店にはないサービスが提供できることを、より多くの住民に知ってもらいたいと考えています。小規模事業者が元気になることが、地域活性化につながるでしょう」と川瀬さんは語る。

独自技術で切り開く新たな市場 ～ものづくり企業の中国市場への挑戦～

texted by 滋賀銀行 上海駐在員事務所 森岡 拓哉

株式会社ゴーシュは、滋賀県湖南市に本社を構える鍛造メーカー。2012年1月、上海の西160kmに位置する江蘇省常州市に、現地法人「常州江鍛汽車零部件有限公司」を設立し、中国に初進出した。今回、現地法人を訪問し、同社が中国進出に至った経緯や今後の中国市場における展望についてお話を伺った。

独自の技術を武器に グローバル展開

同社は、1946(昭和21)年に株式会社江州鍛造工業所として創業。長年の業歴で培った塑性加工技術を駆使する独自の鍛造※技術を武器に、“強い・軽い・高精度”な製品作りを強みとして、日本の自動車産業の発展を支えてきた。96年には、自社ブランド製品の競争力強化とグローバル展開を目指し、自動車部品メーカー三恵工業(栗東市)と共同出資にてインドネシアに現地法人を立ち上げ、初の海外進出を果たした。

中国進出に至る軌跡

安価な労働力を求めて日本のものづくり企業が相次いで中国進出を果たすなか、同社にもサプライヤーとして自動車メー

カーから中国進出のオファーがあった。具体的に社内で検討を進めたが、この時の結論は、ものづくりの原点である「技術」にさらなる磨きをかけ、まずは日本でオンリーワン企業を目指す、というものであった。

その後も日系自動車メーカーの中国生産シフトは加速し、海外へのものづくり移転は顕著となっていった。同社も、世界最大の自動車市場である中国の魅力と、日系自動車メーカーのニーズが最高潮に達した今が中国進出のチャンスと判断し、現地法人設立に踏み切った。

現地法人を支える 中国人の元研修生

現地法人立ち上げにあたり、大きな力となったのが、過去に日本本社で3年間研修生として勤務した中国人研修生たちである。彼らはすでに中国に戻っていたが、同社の進出に際し即戦力として設立をサ

ポート。今では“ゴーシュのものづくり”を経験したリーダーとして中国人ワーカーを統率する頼もしい存在となっている。

現在従業員は総勢59名。若い世代が多く、仕事に対して向上心を持って取り組む姿勢が見られ、活気のある職場となっている。離職率も低く、人材に恵まれたことが、計画通りに工場を稼働できた原動力となった。

活況に沸く中国の自動車市場

2013年、中国は新車販売台数が2,000万台を突破し、5年連続で世界トップの座を確保。右肩上がりに成長を続け、今や世界の自動車販売台数の約4分の1を占める巨大市場を形成している。同社も活況に沸く中国自動車市場を背景に、これまで堅実に磨き上げてきた技術力を最大の強みとして、日系自動車メーカー各



常州市の現地法人で導入した、3000トン級の大型プレス機を備えた自動化製造ライン

社の信頼を勝ち取り、引き合いは高まる一方だ。製造ラインは昨年6月に本格稼働を開始したばかりだが、今後の受注拡大に対応するため、当初計画より1年前倒しで第2ラインの増設を決定し、2015年の稼働を目指している。

国内事業と海外事業の両立

昨年は、インドネシア現地法人でも新工場を稼働させ、順調に海外でのものづくりを展開している。ただし、今後の方針は海外生産比率を高めることなく、長期的かつ持続的な企業成長を成し遂げることにある。売上比率の大部分を占める自動車部品への偏重を回避し、独自の鍛造技術を生かして鉄道関連や医療関連など、自動車分野以外での市場開拓を目指している。

海外では現地生産の拡大を、日本国内では新規分野の開発を進める方針であり、国内と海外の役割を明確にすることで相乗効果を楽しみ、より盤石な事業基盤の構築を狙っている。

当行の海外進出サポートをフル活用

上海駐在員事務所では、同社取引支店である草津支店と連携し、中国進出の

検討段階からサポートさせていただいた。進出候補地の紹介や調査、情報提供を行うとともに、現地駐在員の住環境についてもフォロー。また、会社設立後も財務、税務、労務のアドバイスをはじめ、スタンドバイL/Cを活用した人民元ローンをご利用いただくなど、当行の海外サポートサービスをフルに活用いただいている。

独自の鍛造技術で新市場を切り開いていく同社に対し、当行も引き続き国内外連携の上、一層のサポートをしていきたい。

会社概要

▶株式会社 ゴーシュ

- 所在地／滋賀県湖南市石部緑台2-1-1
- 代表者／代表取締役 後藤 充啓
- 設立／1946年11月
- 資本金／3億5万円
- 事業内容／金属鍛造部品製造
- URL／http://www.gohsyu.co.jp/

▶常州江鍛汽車零部件有限公司

- 所在地／江蘇省常州市武進経済開発区 長帆路8号
- 代表者／董事長 中井 満水
総経理 田村 互
- 設立／2012年1月
- 資本金／10億円
- 事業内容／自動車部品製造(プレス鍛造)



世界の製造拠点として 注目されるメキシコ

今、メキシコが「新しい世界の製造拠点」として注目を集めている。NAFTA(北米自由貿易協定)や世界44か国とのFTA(自由貿易協定)締結による世界への輸出拠点としての強みに加え、米国への地理的優位性、低コストの労働力確保が可能なこと等がその要因だ。

例えば、米国・メキシコ国境には56か所もの通関所が設置され、両国の輸出入量は毎分約100万ドルに上る。メキシコで製造した商品・部品を素早くかつ低コストで米国企業に納入できるため、日欧企業の生産拠点進出や現地法人設立が相次いでいる。なお、日本からメキシコへの製造業投資の大半は自動車分野であり、自動車メーカーが2011年頃から大規模投資を行うとともに、その後も生産能力強化を進めているほか、部品メーカーも追随して現地法人の設立に動いている。

米国が金融緩和縮小を決定した昨年12月以降、メキシコペソは他の新興国通貨と同様に下落し、国外への一部資金流出が見られたものの、今年2月には大手格付会社が同国の外債建および自国通貨建長期国債格付けをそれぞれ「Baa1」から「A3」へ一段階引き上げ、見通しを「安定的」としている。また、メキシコのGDP(2012年度)は1兆1,770億ドルで世界14位、人口は1億1,498万人と日本に次ぐ世界第11位。政府債務残高は低水準で推移しており、80年代以降の累積債務問題、通貨危機の経験を糧にして、規律ある財政運営を行っている点も評価されよう。

さらに特筆すべき点は人口の半数以上が30歳未満という人口構成であり、現在の経済成長が続けば所得水準の向上が個人消費を押し上げることが見込まれ、一段の景気拡大が期待できる。今年1月の世界経済フォーラム年次総会で「メキシコは長期的な投資先として魅力的」と評されており、引き続きその存在感は増していくだろう。

(しがぎんアジア月報3月号より 市場金融部 仲井)

メキシコペソ/円 相場推移



出所: Bloomberg



常州市の現地法人で製造している自動車向け製品



左から、現地法人を率いる林副総経理、中井董事長、田村総経理

※鍛造=金属素材を打撃・加圧することで、目的の形状を造ること

緩やかな回復が続いている



県内景気の動向

現状 県内製造業の生産活動の現状を鉱工業生産指数でみると、窯業・土石や食料品などは大幅に低下したが、電気機械や輸送機械は高水準が続き、金属製品やはん用・生産用・業務用機械などが上昇したため、原指数、季節調整指数ともに3か月連続のプラスとなっている。

需要面では、大型店売上高は既存店ベースでは4か月連続のマイナスとなっているが、全店ベースではウエイトの高い飲食料品が引き続き堅調に推移し、家具も3か月連続で前年を上回っているため、全体では3か月連続のプラスとなった。また、乗用車新車登録台数は消費税増税前の駆け込み購入がみられ5か月連続の大幅プラス、軽乗用車も6か月連続かつ大幅のプラスとなっている。さらに、公共工事の請負金額は2か月ぶりの大幅プラスとなった。一方、民間非居住用建築着工床面積でみた民間設備投資は3業用すべてでマイナスとなったため、3業用計では4か月ぶりの大幅マイナスとなり、新設住宅着工戸数は上記の駆け込みによる着工が縮小し持家が7か月ぶりのマイナスとなったため、全体では5か月連続のプラスとなっているものの全体の伸び率は鈍化してきた。このような状況下、雇用情勢をみると、新規求人倍率が2か月連続で上昇するなど、改善傾向がみられる。

これらの状況から県内景気の現状をみると、需要面で上記の駆け込み需要を受けた着工の一部で縮小の動きはみられるものの、製造業の生産活動が引き続き堅調に推移しているため、全体的には緩やかな回復が続いていると考えられる。

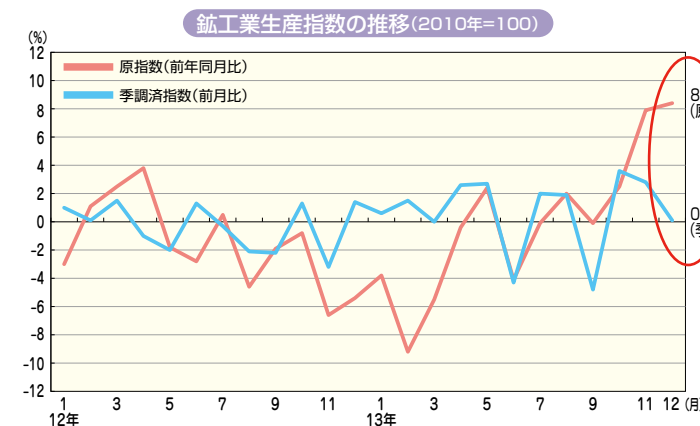
今後の動向 県内製造業の生産活動は、消費税増税前の駆け込み需要に伴う生産は徐々に縮小し、さらに増税後の反動減を見込んだ生産調整の動きがみられ、また、中国をはじめとする新興国景気の減速懸念による減産などから、全体に伸び悩むものと考えられる。

需要面では、消費税増税後の個人消費については、家計所得の伸び悩み、物価、光熱費の上昇、消費税の増税といったマイナス要因に加え、日用品やサービス消費も一転、節約志向が強まり買い控えの動きが出てこよう。さらに、民間設備や新設住宅着工などの投資関連需要についても、資材価格や労務費の一層の高騰懸念は根強いものの、駆け込み需要による着工などは徐々に減少していくものと考えられる。

したがって、今後の県内景気は、生産活動面では減産の動きがみられ伸び悩み、個人消費では消費税増税後は買い控えの動きが出はじめ、投資関連では徐々に減少していくと考えられるため、全体的に伸び悩み、弱含みの状態になると思われる。

「鉱工業生産指数」は、原指数、季節調整指数ともに3か月連続のプラス

2013年12月の県内製造業の生産状況は、鉱工業生産指数(2010年=100)の「原指数」が100.7、前年同月比+8.4%、「季節調整指数」も104.4、前月比+0.1%で、ともに3か月連続のプラスとなり、また、鉱工業全体の季節調整指数の3か月移動平均値(11月)は103.4、前月比+2.1%で、3か月連続のプラスとなっている。業種別(中分類)に季節調整指数の水準をみると、「窯業・土石」などは低いものの、「電気機械」や「はん用・生産用・業務用機械」「輸送機械」「その他」などは高水準となっている。また、前月に比べると、「窯業・土石」や「食料品」などは大きく低下したが、「金属製品」や「はん用・生産用・業務用機械」などは上昇した。



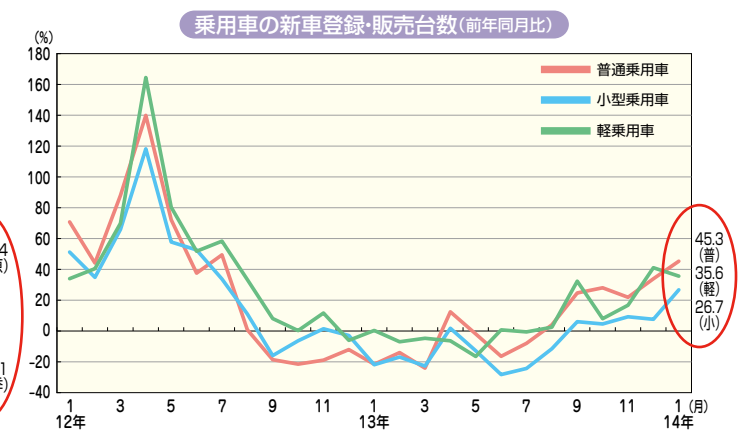
「乗用車新車登録台数」は、5か月連続の大幅プラス

2014年1月の「消費者物価指数(生鮮食品を除く総合／大津市／2010年=100)」は99.8、前年同月比+1.2%、前月比-0.2%となり、前年比では9か月連続かつ大幅のプラスとなっているものの、前月比では3か月連続のマイナスとなった。「可処分所得(同)」は4か月連続かつ大幅のプラスとなったものの(前年同月比+12.4%)、「家計消費支出(同)」は3か月ぶりのマイナスとなった(同-7.4%)。

このような所得・消費環境のなか、1月の「大型店売上高(全店ベース=店舗調整前、対象店舗数は100店舗、前年は93店舗)」は前年同月比+1.8%となり、3か月連続で前年を上回っている。品目別でみると、「衣料品」(同-5.4%)と「家電機器」(同-2.9%)はともに7か月連続で前年を下回り、「身の回り品」(同-0.8%)と「家庭用品」(同-3.1%)も4か月連続のマイナスとなったが、ウエイトの高い「飲食料品」が8か月連続(同+3.6%)、「家具」も3か月連続のそれぞれプラス(同+10.6%)となった。一方、「既存店ベース(=店舗調整後)」の売上高は「飲食料品」(同+0.3%)と「家具」(同+7.3%)が前年を上回ったものの、「家電機器」(同-7.2%)や「衣料品」(同-5.8%)が大幅のマイナスとなったため、全体では4

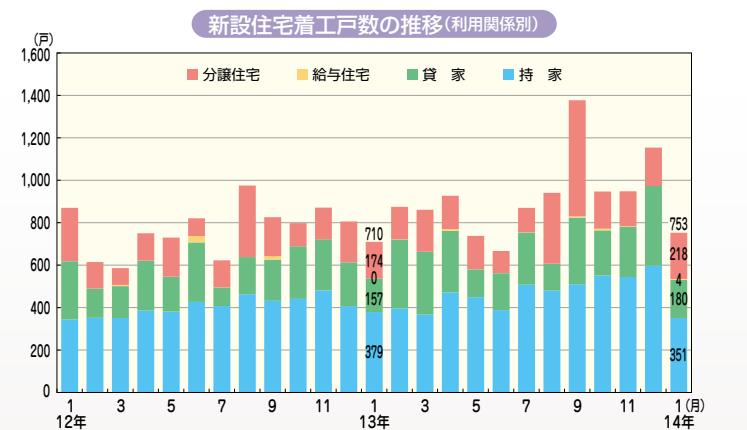
か月連続のマイナスとなっている(同-1.0%)。

1月の「乗用車新車登録台数(登録ナンバー別)」は、「普通乗用車(3ナンバー車)」が6か月連続かつ大幅のプラス(1,735台、前年同月比+45.3%)、「小型乗用車(5ナンバー車)」も5か月連続のプラスとなっているため(1,494台、同+26.7%)、2車種合計では5か月連続の大幅プラスとなり、好調に推移している(3,229台、同+36.1%)。また、「軽乗用車」も6か月連続かつ大幅のプラスとなっている(2,592台、同+35.6%)。これも消費税増税前の駆け込み購入によるものとみられる。



「新設住宅着工戸数」は、5か月連続のプラスだが、伸び率は鈍化

1月の「新設住宅着工戸数」は753戸、前年同月比+6.1%で、5か月連続のプラスとなっているが、伸び率は鈍化してきた。消費税増税前の駆け込みによる着工が縮小してきたためとみられる。利用関係別でみると、「持家」は351戸、同-7.4%(大津市62戸、草津市41戸など)となり7か月ぶりに前年を下回ったものの、「貸家」は180戸、同+14.6%(大津市32戸など)で前月に続き大幅のプラス、「分譲住宅」も218戸、同+25.3%(守山市86戸、大津市41戸、草津市40戸など)で、2か月ぶりのプラスとなった。内訳をみると、「一戸建て」は5か月連続で前年を大きく上回り(141戸、同+25戸)、「分譲マンション」も3か月ぶりの申請となった(77戸、前年差+19戸)。なお、給与住宅は4戸。





県内企業動向調査2014年1-3月期の実績見込みと
4-6月期の見通し

景況感は一全業種で大幅改善するも、 先行きは不透明

Text by しがぎん経済文化センター 上村 彰吾

今回の調査によると、現在(14年1-3月期)の業況判断DIは前回(13年10-12月期)から+18ポイント(+1→+19)と大幅かつ5四半期連続の上昇となった。消費税率の引き上げを見越した駆け込み購入の発生などにより、全業種で景況感が大幅に改善したとみられる。しかしながら3か月後は、消費税増税後の反動減などから、-32ポイント(+19→-13)と大幅に悪化する見通しだ。

調査の概要

- 調査名:「県内企業動向調査」
- 調査時期:2014年2月20日～3月14日
- 調査対象先:952社
- 有効回答数:463社(有効回答率49%)
 - うち製造業: 208社(有効回答数の構成比 45%)
 - うち建設業: 79社(有効回答数の構成比 17%)
 - うち非製造業:176社(有効回答数の構成比 38%)

自社の業況判断DI…大幅改善

①全体の動向(図1)

現在(14年1-3月期)の業況判断DIは前回(13年10-12月期)の+1から18ポイント上昇の+19で、5四半期連続の上昇となった。4月の消費税率の引き上げが目前にせまり、駆け込み購入などが本格化したことから、全体的に景況感が改善したとみられる。

しかしながら、3か月後は、消費税増税後の反動減や、原材料費や光熱費の高騰による仕入価格の高止まり懸念などから、32ポイント下落の-13と一転し、大幅に悪化する見通しである。

②業種別の動向

製造業は+15ポイント(-2→+13)、建設業は+19ポイント(+23→+42)、非製造業は+20ポイント(-4→+16)と、全業種で大幅に上昇し、プラスとなった。

製造業では電気機械、化学、食料品など全15業種のうち9業種で上昇したが、輸送用機械など5業種で下落した。非製造業では卸売、小売など全8業種のうち4業種で上昇したが、不動産、運輸・通信など3業種で下落した。

3か月後は、消費税増税後の反動減や、仕入価格の高止まり懸念などから、製造業が-20ポイントの-7、建設業は-49ポイントの-7、非製造業も-48ポイントの-22と全業種で大幅に下落し、マイナスに転じる見通しである。

仕入価格DI… 再び上昇に転じ、依然高水準

①全体の動向(図2)

仕入価格DI(「上昇」と回答した企業の割合から「下落」と回答した企業の割合を引いた値)は+37で、前回(13年10-12月期)の+34から+3ポイントと再び上昇に転じ、引き続き高い水準となった。円安による原材料費や燃料費の高騰、電気料金の値上げの影響が長期化しているためとみられる。

3か月後は+1ポイント(+37→+38)で引き続き高い水準が続く見通しである。

②業種別の動向

非製造業では-5ポイント(+33→+28)と2四半期連続の下落となったが、製造業で+8ポイント(+34→+42)、建設業で+2ポイント(+40→+42)と、それぞれ上昇した。

製造業では精密機械、化学など12業種で上昇したが、輸送用機械、窯業・土石など3業種で下落した。非製造業では不動産、小売で上昇したが、卸売、サービスなど4業種で下落した。

3か月後は、建設業は-3ポイント(+42→+39)と下落に転じるが、製造業は+2ポイント(+42→+44)、非製造業も+3ポイント(+28→+31)と引き続き上昇し、依然として高い水準が続く見通しである。

販売価格DI… 2四半期連続の上昇となり、プラスに転じる

①全体の動向(図3)

販売価格DI(「上昇」と回答した企業の割合から「下落」と回答した企業の割合を引いた値)は+3で、前回(13年10-12月期)の-3から+6ポイントと、2四半期連続で上昇し、わずかながらプラスに転じた。

3か月後は-3ポイント(+3→0)と下落する見通しである。

②業種別の動向

非製造業は+11ポイント(0→+11)と大幅に上昇し、3業種で唯一プラスとなった。製造業は+5ポイント(-6→-1)、建設業も+2ポイント(-3→-1)と全業種で上昇した。製造業では、非鉄金属、化学、木材・木製品など7業種で上昇したが、一般機械、繊維など5業種で下落した。非製造業では卸売、小売、サービスなど4業種で上昇したが、不動産、電気・ガスで下落した。

3か月後は、製造業は-1ポイント(-1→-2)、建設業は-4ポイント(-1→-5)、非製造業も-5ポイント(+11→+6)と全業種で下落する見通しである。

人員判断DI…不足感が強まる

①全体の動向(図4)

現在の人員判断DI(「過剰」と回答した企業の割合から「不足」と回答した企業の割合を引いた値)は-21で、前回(13年10-12月期)の-18から-3ポイントと3四半期連続の下落となり、人員の不足感が強まっている。

3か月後は、+8ポイント(-21→-13)と上昇に転じるものの、人員の不足感は続く見通しである。

②業種別の動向

製造業は-8ポイント(-5→-13)の下落、非製造業も-5ポイント(-18→-23)の下落となり、人員の不足感がさらに強まっている。建設業は+6ポイント(-47→-41)と3四半期ぶりに上昇に転じるも、不足感が強い状態が続いている。

製造業では、輸送用機械、食料品で上昇したが、金属製品、非鉄金属など8業種で下落した。非製造業では小売で上昇したが、卸売、運輸・通信など6業種で下落した。

3か月後は、製造業で+7ポイント(-13→-6)、建設業は+19ポイント(-41→-22)、非製造業でも+6ポイント(-23→-17)と全業種で上昇するものの、人員の不足感は続く見通しである。

図1 自社の業況判断DIの推移

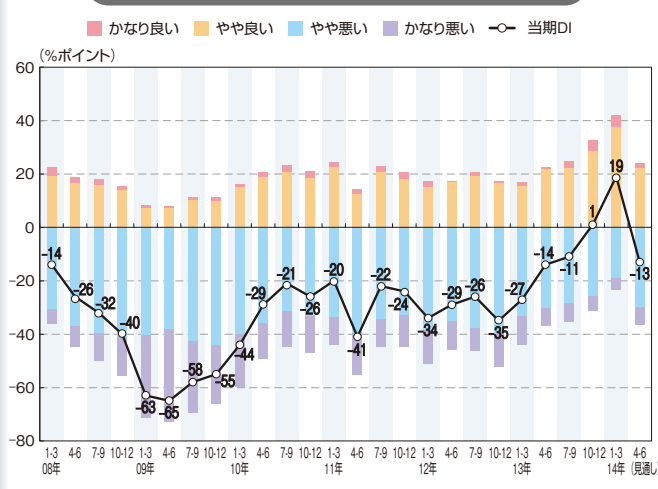


図2 仕入価格DIの推移

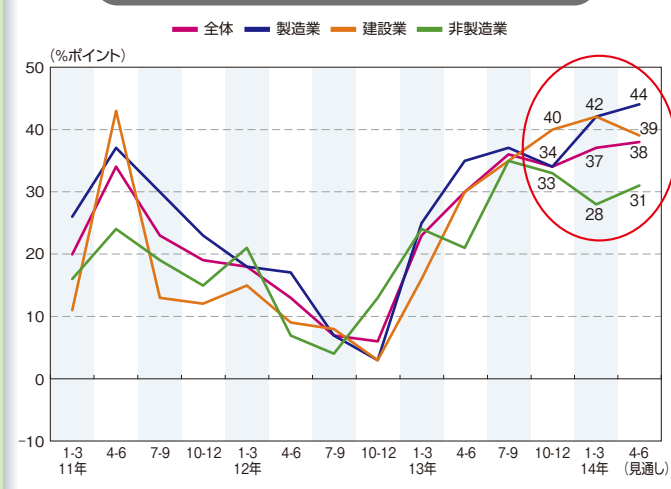


図3 販売価格DIの推移

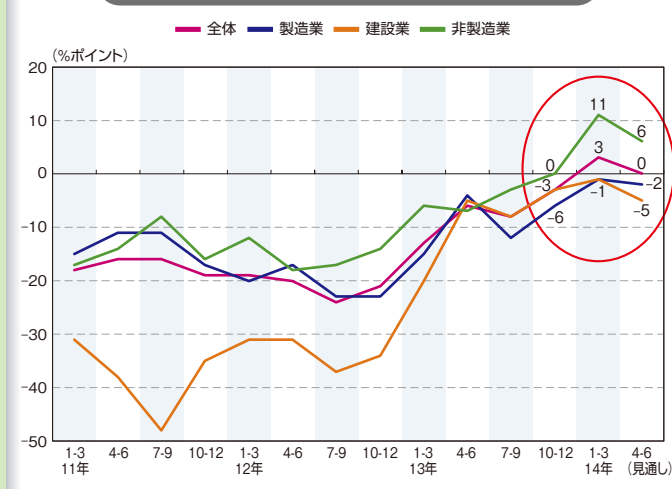
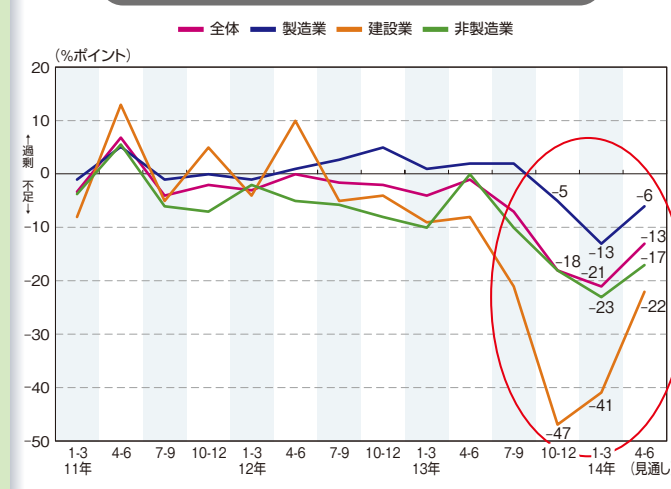


図4 人員判断DIの推移



項目 年 月	鉱工業指数(2010年=100)※1								消費者物価指数 (大津市, 2010年=100) (生鮮食品を除く総合)				大津市勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)				大型小売店販売額	
	生 産				出 荷		製品在庫						可処分所得		家計消費支出		店舗調整前	店舗調整後
	季節指数	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	指数	前月比	前年比	円	前年比	円	前年比	前 年 比	前 年 比		
2011年度(年)	102.7	—	12.7	—	11.8	—	17.3	※99.3	—	※▲0.7	※329,558	※▲13.8	※279,021	※▲5.7	—	—	※0.3	※▲1.4
2012年度(年)	101.1	—	1▲1.6	—	11.5	—	1▲4.0	※99.2	—	※▲0.1	※347,541	※5.5	※264,306	※▲5.3	—	—	※▲1.1	※▲1.3
2013年度(年)	100.9	—	1▲0.2	—	10.7	—	1▲1.1	※99.5	—	※0.3	※354,132	※1.9	※294,675	※11.5	—	—	※▲0.2	※▲1.7
2013. 1	97.7	10.6	1▲3.8	11.2	1▲3.9	1▲2.8	1▲5.0	98.6	▲0.2	▲0.2	271,188	▲3.0	319,898	28.8	—	—	▲3.0	▲3.9
2	99.2	11.5	1▲9.2	10.0	1▲8.2	1▲1.8	1▲6.5	98.7	0.0	▲0.4	288,151	▲10.9	261,290	14.9	—	—	▲3.4	▲3.9
3	99.2	10.0	1▲5.5	13.0	1▲3.8	10.0	1▲7.8	98.8	0.1	▲0.4	277,311	▲4.9	296,606	5.5	—	—	▲0.2	▲0.7
4	101.8	12.6	1▲0.4	11.4	11.0	13.3	1▲5.1	99.0	0.2	▲0.7	342,382	26.3	335,473	15.8	—	—	▲0.5	▲1.3
5	103.4	11.6	12.4	1▲0.2	10.5	12.4	1▲4.2	99.6	0.5	0.1	276,206	17.9	289,239	13.3	—	—	▲1.3	▲2.7
6	99.0	1▲4.3	1▲4.1	1▲2.5	1▲3.5	10.7	1▲4.2	99.6	0.0	0.4	419,547	▲22.9	281,302	22.6	2.4	—	—	1.2
7	101.0	12.0	1▲0.1	10.1	10.5	1▲0.2	1▲3.8	99.7	0.1	0.6	478,131	14.0	323,167	18.3	—	—	▲1.2	▲2.3
8	102.9	11.9	12.0	1▲2.0	1▲3.5	11.6	1▲0.7	100.0	0.3	0.8	319,249	▲6.0	241,047	▲4.2	—	—	▲0.7	▲1.4
9	98.0	1▲4.8	1▲0.1	1▲4.6	1▲2.9	10.8	10.6	100.0	0.0	0.5	287,579	▲6.9	267,035	0.5	1.0	—	—	0.2
10	101.5	13.6	12.5	15.3	12.2	1▲0.4	10.6	100.2	0.2	0.9	307,180	2.3	280,607	▲2.7	—	—	▲0.2	▲1.9
11	104.3	12.8	17.9	14.6	16.9	1▲1.3	10.2	100.1	▲0.1	1.0	357,470	22.5	335,020	29.7	2.8	—	—	▲1.6
12	104.4	10.1	18.4	11.1	18.8	1▲3.1	1▲1.1	100.0	▲0.1	1.2	625,193	10.3	305,413	0.7	1.8	—	—	▲2.0
2014. 1								100.1	▲0.2	1.2	305,567	12.7	296,152	▲7.4	—	—	11.8	1▲1.0
資料出所	滋賀県統計課								滋賀県統計課				総務省				経済産業省	

項目 年 月	鉱工業指数(2010年=100)							消費者物価指数 (2010年=100) (生鮮食品を除く総合)			全国勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)				大型小売店販売額	
	生 産			出 荷		製品在庫					可処分所得		家計消費支出		店舗調整前	店舗調整後
	季節調整指数	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	指数	前月比	前年比	円	前年比	円	前年比	前 年 比	前 年 比
2011年度(年)	※97.2	—	※▲2.8	—	※▲3.7	—	※2.0	※99.8	—	※▲0.3	※420,500	※▲2.2	※308,826	※▲3.0	※▲0.9	※▲1.8
2012年度(年)	※97.8	—	※0.6	—	※1.2	—	※5.2	※99.7	—	※▲0.1	※425,005	※1.1	※313,874	※1.6	※▲0.0	※▲0.8
2013年度(年)	※97.0	—	※▲0.8	—	※▲0.6	—	※▲4.3	※100.1	—	※0.4	※426,132	※0.3	※319,170	※1.7	※0.6	※▲0.4
2013. 1	94.1	▲0.6	▲6.0	1.2	▲4.2	▲1.6	3.0	99.1	▲0.3	▲0.2	354,287	▲0.4	321,065	3.7	▲2.9	▲3.5
2	94.9	0.9	▲10.1	1.8	▲8.6	▲1.2	0.4	99.2	0.1	▲0.3	395,795	▲2.4	298,682	2.0	▲2.9	▲3.7
3	95.0	0.1	▲7.2	▲0.8	▲5.9	▲0.7	▲2.7	99.5	0.3	▲0.5	363,271	▲0.4	350,957	6.5	3.5	2.4
4	95.9	0.9	▲3.4	▲1.4	▲3.0	0.8	▲4.0	99.8	0.3	▲0.4	385,584	▲0.2	340,423	0.4	▲1.0	▲2.3
5	97.7	1.9	▲1.1	1.0	▲2.1	▲0.4	▲2.7	100.0	0.2	0.0	318,353	2.8	307,926	1.1	0.9	▲0.4
6	94.7	▲3.1	▲4.6	▲3.2	▲5.1	0.0	▲2.9	100.0	0.0	0.4	591,825	1.7	296,512	1.2	4.5	3.5
7	97.9	3.4	1.8	2.0	1.4	1.6	▲2.8	100.1	0.1	0.7	454,329	1.3	310,387	▲0.7	▲0.7	▲1.6
8	97.0	▲0.9	▲0.4	▲0.1	▲1.3	▲0.2	▲3.3	100.4	0.3	0.8	388,907	▲0.3	312,622	0.6	0.9	▲0.1
9	98.3	1.3	5.1	1.5	4.6	▲0.2	▲3.5	100.5	0.1	0.7	349,578	1.0	315,443	5.2	1.7	0.7
10	99.3	1.0	5.4	2.3	6.3	▲0.3	▲3.8	100.7	0.2	0.9	401,139	0.0	316,555	0.4	0.8	▲0.1
11	99.2	▲0.1	4.8	0.0	6.6	▲1.8	▲5.1	100.7	0.0	1.2	356,208	0.5	300,994	0.3	1.2	0.6
12	100.1	0.9	7.1	0.8	6.3	▲0.5	▲4.3	100.6	0.0	1.3	754,307	▲0.1	358,468	▲0.3	0.9	0.2
2014. 1	103.9	3.8	10.3	5.1	9.0	▲0.9	▲3.7	100.4	▲0.3	1.3	358,398	1.2	325,804	1.5	P0.8	P0.1
資料出所	経 済 産 業 省							総 務 省							経済産業省	

項目 年 月	乗用車新車登録台数 (軽を除く) (登録ナンバー別)		民間非居住用 建築物床面積 (3業用計)(注)③		新設住宅着工					公共工事請負金額		求人倍率※2 (含パート、季節調整)		雇 用 保 険 受給者実人員	
	合 計		持家		貸家		分譲		公共工事請負金額		新規		有効		完全失業率 (季節調整)
	台	前年比	m	前年比	戸	前年比	前年比	前年比	百万円	前年比	倍	倍	人	前年比	
2011年度(年)	30,368	※18.6	486,440	※19.4	8,726	※19.9	17.9	11.6	97,226	3.2	0.99	0.62	6,975	18.2	
2012年度(年)	38,450	※26.6	544,001	※11.8	9,271	※6.2	7.5	19.5	94,176	13.1	1.08	0.68	7,395	6.0	
2013年度(年)	35,986	※16.4	570,921	※4.9	11,015	※18.8	15.8	20.6	—	—	—	—	—	—	
2013. 1	2,373	121.7	46,496	73.2	710	118.4	10.2	12.7	4,229	128.3	11.11	0.70	7,580	13.6	
2	3,279	115.4	31,491	55.5	875	142.3	12.5	135.5	22.4	4,099	11.12	0.71	7,082	7.5	
3	4,526	123.4	26,682	137.0	861	146.9	4.6	97.3	150.6	7,159	11.15	10.72	6,827	6.8	
4	2,685	7.0	61,223	16.0	927	23.6	22.3	23.9	21.7	13,926	11.23	0.74	7,179	10.8	
5	2,401	17.4	44,870	53.9	738	1.1	17.8	10.6	114.7	12,819	11.21	0.75	7,652	14.6	
6	2,826	122.5	33,530	148.0	667	118.8	19.1	137.9	23.8	7,116	11.25	10.78	7,313	12.7	
7	3,182	116.4	58,638	119.5	870	39.6	24.8	182.8	110.2	12,549	7.4	1.25	7,685	12.9	
8	2,455	113.9	34,501	124.4	941	113.5	3.7	127.4	10.9	11,194	11.25	10.82	7,097	18.4	
9	3,418	15.2	62,189	123.7	1,377	66.7	18.1	61.9	198.9	14,577	11.29	10.82	6,761	16.2	
10	2,969	15.3	39,447	27.1	947	18.7	24.9	114.1	60.6	10,205	11.41	0.87	6,893	18.1	
11	3,048	15.5	42,477	40.5	948	8.8	13.1	12.1	10.7	8,547	11.38	0.91	6,128	19.4	
12	2,824	20.7	89,377	62.8	1,154	143.2	16.9	82.0	16.2	5,141	119.3	10.94	5,948	118.2	
2014. 1	3,229	36.1	23,757	148.9	753	6.1	17.4	14.6	25.3	10,816	155.8	1.44	5,899	122.2	
資料出所	(一社)自販連		国 土 交 通 省					西日本建設業保証(株)		滋賀労働局					

項目 年 月	常用雇用指数 (全産業) (2010年=100)		所定外労働時間 指数(製造業) (2010年=100)		常用労働者の 賃金指数(名目) (2010年=100)		企業倒産		手形交換高			不渡手形発生高			銀行取引 停止処分	業況判断DI	
	指数	前年比	指数	前年比	指数	前年比	件	百万円	千枚	億円	前年比	枚	百万円	前年比	件		
2011年度(年)	※101.3	※1.3	※106.7	※6.7	※100.8	※0.8	※118	※17,843	※408	※5,631	※▲6.1	※439	※692	※▲48.9	※26	－	
2012年度(年)	※100.6	※▲0.7	※110.3	※3.4	※98.7	※▲2.1	※107	※55,530	※380	※5,149	※▲8.6	※306	※303	※▲56.2	※17	－	
2013年度(年)	－	－	－	－	－	－	※95	※11,778	※356	※4,746	※▲7.8	※306	※373	※23.3	※17	－	
2013. 1	100.0	▲0.2	95.6	0.6	85.7	0.1	9	1,335	34	461	▲0.9	15	5	▲78.6	1	(1-3月期) ▲27	
2	101.4	1.3	108.1	▲5.5	80.5	▲1.5	4	238	29	400	▲3.1	31	23	▲19.9	1		
3	100.7	0.8	111.3	▲4.3	87.3	0.0	5	202	26	342	▲3.6	14	14	▲31.2	3		
4	101.8	0.7	115.6	2.2	82.8	▲0.6	7	2,750	35	491	16.2	49	69	22.7	2	(4-6月期) ▲14	
5	101.7	0.5	110.6	2.9	82.4	0.2	7	2,152	31	407	▲27.3	23	55	73.8	1		
6	101.3	0.3	115.6	3.3	147.0	1.3	6	716	24	351	▲19.5	17	22	176.1	0		
7	101.4	0.1	118.8	3.8	116.7	4.2	9	604	36	480	▲7.2	26	66	232.1	1	(7-9月期) ▲11	
8	101.1	0.0	112.5	2.3	82.8	0.5	5	178	25	336	▲23.7	19	29	196.3	1		
9	100.9	0.0	111.3	3.5	80.5	▲0.9	8	521	32	444	37.6	54	22	28.5	3		
10	101.4	0.7	117.5	8.7	81.1	▲0.5	7	734	29	376	▲21.8	41	57	▲19.3	1	(10-12月期) 1	
11	101.4	0.9	125.0	10.5	85.0	▲0.2	13	2,093	24	302	▲24.0	4	3	▲80.7	0		
12	100.4	1.3	120.6	7.2	181.8	2.8	5	255	31	357	5.2	13	9	151.0	3		
2014. 1							4	219	31	403	▲12.7	23	16	233.5	0	(1-3月期) 19	
2							8	1,225	27	318	▲20.3	27	15	▲36.3	1		
資料出所	滋賀県統計課		滋賀県統計課				(株)東京商工リサーチ			大津手形交換所						KEIBUN	

ニュービジネスへの取り組みを奨励 ―「しがぎん野の花賞」を5社に贈呈―

当行は2月22日、ニュービジネス奨励金「しがぎん野の花賞」の贈呈式を行いました。

同賞は、当行創立70周年(2003年)を記念して創設したもので、今回で11回目となります。当行主催の「サタデー起業塾」受講者の中から、産学官(産産含む)連携によりニュービジネスに取り組まれた事業者や企業を対象に、顕著な取り組みに対して「しがぎん野の花賞」として10万円を贈呈し、新事業や新商品、新サービスへの取り組みを奨励しているとの思いを込めています。

受賞の皆さんからは、「受賞はこれからの励みになります」「今後も地元企業と新たなビジネスを共同開発していきたい」との感想が述べられました。

第1回目からの贈呈先は、累計78先、合計780万円となりました。



大道頭取(右から3人目)から各受賞者へ、賞状などが贈られました

平成25年度「しがぎん野の花賞」受賞先

受賞企業	連携先機関	テーマ
滋賀麻工業 株式会社	株式会社 コクヨ工業滋賀	近江の麻とびわ湖のヨシを使った意匠ノートの共同開発
スターエンジニアリング 株式会社	立命館大学	自己浮上式小水力発電装置に関する研究
ツジコー 株式会社	滋賀県産業支援プラザ 滋賀県東北部工業技術センター 株式会社 日本ジー・アイ・ティー	植物由来の機能性成分生成に利用するストレス負荷型装置のデータベース化の研究開発
株式会社 ドリーム・ジービー	東京医科歯科大学 NTT東日本伊豆病院	世界最小最軽量3次元足型レーザー計測システム機器の開発および定型データベースの構築
株式会社 ミュー	龍谷大学 大阪医科大学	高い精度・安全性・生体適合性を有する消化管検査用小型ロボットの開発

*本件の交付金は景品表示法「クローズド懸賞」に該当し、その限度額を順守しています。

「第17回環境コミュニケーション大賞」でダブル受賞 ―環境報告書部門 環境報告大賞、テレビ環境CM部門 優秀賞―

当行が2013年10月に発行した「CSRレポート2013 歩みを、共に。」が、「第17回環境コミュニケーション大賞」(主催:環境省、一般財団法人地球・人間環境フォーラム)の環境報告書部門において最高位である「環境報告大賞(環境大臣賞)」を、また、当行のテレビCM「ニゴロブナ・ワタカ放流」篇(2013年7月から放映中)が、テレビ環境CM部門の「優秀賞(地球・人間環境フォーラム理事長賞)」を受賞し、栄えるダブル受賞となりました。

「環境コミュニケーション大賞」は優れた環境報告書等や環境活動レポート、テレビ環境CMを表彰することにより、事業者の環境コミュニケーションへの取り組みを促進し、環境情報開示の質の向上を図るものです。

当行では「お客さまと手を携えて持続可能な社会の実現に取り組んでいきたい」との願いから、2001年より環境への取組方針などを記載した報告書を作成しています。特に、今回の「環境報告大賞」では、持続可能な社会の構築に重要な

環境投資がいまだ発展途上な国内において、いち早く環境配慮型金融商品の開発・提供に取り組んだこと、エコビジネスマッチングフェアの開催等を通して社会の環境負荷低減へ貢献・支援し、事業活動の各側面で環境配慮を取り込んだ社会貢献活動等を地道に継続していることなどが、簡潔かつポイントを押さえて記載されていると高く評価されました。



3月17日、表彰式が東京のホテルで開催され、牧原秀樹環境大臣政務官から大道頭取に表彰状が贈られました

《イチ押し! pick up》

会社DATA

農事組合法人 近江農産組合

- 本社/滋賀県東近江市布施町215-1
- 設立/1980年
- 代表/高木 治三郎
- 従業員数/38名
- 事業内容/漬物製造
- 問い合わせ先/TEL:0748-24-0045
- URL/http://www.ouminousan.com/

鮎寿司から発見された菌で作られた漬物「乳酸菌の恵み」

滋賀県認証の「環境こだわり農作物*」や良質な地元野菜で健康漬物を作る近江農産組合。合成着色料・合成保存料等を使用せず、「おいしさ」に加えて「安心・安全」を追求した漬物を提供している。

その中で滋賀ならではの漬物として話題を集めているのが「乳酸菌の恵み」。郷土料理として有名な鮎^{ふな}寿司の米飯部分から取り出された「すし乳酸菌(SU-6)」を使った業界初の漬物だ。鮎寿司特有の臭いはなく、浅漬けと同じように薄味に仕上げている。この漬物を共同研

*環境と調和した農業で、減農薬など一定の基準を満たした作物を滋賀県が認証したもの

究開発した大阪府立大学による実験で、「すし乳酸菌(SU-6)」にはアレルギーやアトピーの抑制効果、消化管免疫機能の改善効果などが実証されているのだ。

新鮮な青首大根にゆずを加えあっさりとし漬け込んだ「ゆず入り大根」や、新鮮な黄心^{おうしん}系白菜に昆布を加え、素材の味を生かして漬け込んだ「昆布入り白菜漬け」等の通年商品に加え、季節限定でなすや千枚漬も製造している。

リレーエッセイ 着眼大局



滋賀銀行 常務取締役
児玉 伸一

あれから一年

日銀による「異次元の金融緩和」と「アベノミクス」の実施から一年が経過しました。そして今月から消費税が増税されました。まさに季節は「桜咲く」ですが、「消費の崖」も懸念され、消費は「花冷え」の感を強めています。

持続可能な経済社会の実現を目指し、政府の「日本再生戦略」が打ち出され、成長戦略は“第三の矢”と位置づけられています。しかし、景気回復の“けん引役”を期待された肝心の輸出が、生産拠点の海外移転など産業構造の変化により円安にもかかわらず伸び悩み、景気の持続的な回復、デフレ脱却も“黄信号”が点滅しています。

このような状況下で日本経済を“回復軌道”に乗せるには、や

はり事業者の大多数を占める中小企業の「活性化」こそがカギとなります。

景気回復の“主役”としての中小企業の皆さんには、今こそ、事業の“過去”や“成功体験”にこだわることなく、“今後”の方向性を見出していただきたいと思います。景気の先行きには、ほのかな明かりも兆す今こそ、中小企業にとっての“脱却”“成長”の好機であります。

当行も地域金融機関として起業、第二創業、事業転換等あらゆる場面で積極的に「リスクテイク」に努め、お取引先の成長支援に取り組んでまいりたいと考えます。

『しがぎん』ビジネスフォーラム2014 サタデー起業塾

新たな成長を実現するニュービジネスの創出

平成26年 5月17日～平成27年 2月21日（年5回土曜日開催）

- 第1回 平成26年 5月17日 **土** 14:00～18:00
- 第2回 平成26年 7月12日 **土** 14:00～17:00
- 第3回 平成26年 9月 6日 **土** 14:00～17:00
- 第4回 平成26年11月15日 **土** 14:00～17:00
- 第5回 平成27年 2月21日 **土** 14:00～18:00

会場 しがぎん草津ビル

年会費：一般／20,000円 学生／10,000円

定員：100名 ※定員になり次第、締め切らせていただきます。

主催：滋賀銀行「野の花応援団」事務局

お問い合わせ：滋賀銀行 営業統轄部

TEL.077-521-2852（平日9:00～17:00）

FAX.077-521-2867

『しがぎん』ホームページでもご覧いただけます。

<http://www.shigagin.com>

SHIGA BANK

滋賀銀行は、環境省認定の
「エコ・ファースト企業」として、
「環境経営」に取り組んでいます。

